

管理職向け 社員研修プログラム

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

<https://www.armg.jp/business/training/>

25年超の実績と最新知見で、部下育成と組織活性をご支援いたします

提供可能エリア(可能エリアが青塗)				サービスの概要・特徴
北海道	東北	関東	甲信越	<p>アドバンテッジリスクマネジメントの管理職向け研修は、25年以上にわたるメンタルヘルス支援と組織開発の実績を基盤に、現場のマネジメント課題に即した実践的なプログラムを提供しています。認知行動理論や組織心理学、ポジティブ心理学といった最新の学術知見を反映し、単なる知識の習得にとどまらず、管理職自身の意識変容と行動変容を促す構成が特長です。プログラムでは、1on1スキルの向上、部下のエンゲージメント強化、アンコンシャス・バイアスへの理解、感情マネジメントなど、組織の心理的安全性を高めるためのテーマを幅広く取り扱っています。座学に加えてワークショップやロールプレイを重視し、現場での即実践につながる設計となっています。</p> <p>また、双方向型のオンライン研修にも対応しており、リアルと変わらぬ学びの深さを実現。階層別研修や課題別研修として柔軟に組み合わせられる点も魅力です。管理職の役割が多様化する中で、心理的側面からのアプローチによって、部下との関係構築やチームの生産性向上を支援する、実効性の高い研修です。</p>
北陸	東海	近畿	中国	
四国	九州	沖縄	海外	
提供可能法人規模 (◎：実績あり、○：提供可)				
50人未満	1,000人未満	10,000人未満	10,000人以上	
○	◎	◎	◎	
サービスの目的・期待される効果				
【凡例】◎：実証評価>●：理論的裏付け>○：ユーザー評価				
基盤整備	法制度対応		—	
	制度・施策体系の整理		—	
	人事・産業保健業務の効率化・負担減		—	
	組織状況の把握		—	
取組の普及・浸透	サーベイ受検率向上		—	
	相談窓口の利用率・認知率向上		○	
	プログラムへの参加率・利用率向上		—	
	不調の早期発見・対応		●	
	ヘルスリテラシー・意識向上		—	
	仕事のストレス要因低減		●	
	心理的安全性・上司のサポート力向上		●	
周囲のサポート力向上		—		
心の健康・業務パフォーマンス	生活習慣の改善		—	
	健康状態・心理指標改善		—	
	アブセンティーズム改善		●	
	プレゼンティーズム改善		—	
	ワーク・エンゲージメント向上		—	
	従業員エンゲージメント向上		—	
	労務指標改善（離職率、残業時間等）		—	
導入企業の評価				
<p>2024年度に当社フォーマットの受講後アンケートに回答をいただいた103社／6629件の結果より、下記のようなコメントをいただいています。</p> <p>「今後の安全配慮義務を果たす上で参考になると感じた」（法制度対応）</p> <p>「カウンセリングを受けられる窓口が有ることは心強くと感じました。自身の悩み及び解決出来ない部下からの相談があった場合、是非利用したい」（相談窓口の利用率・認知率向上）</p> <p>「部下の様子に変化があったとき、まずは声をかける」（不調の早期発見・対応）</p> <p>「チーム内の心理的安全性をいかに高く保つか、それによりお互いにコミュニケーションもとりやすくなり、相手の人となりがみんなに伝わり、相手を尊重した対話が出来ると思う。」（心理的安全性）</p> <p>「会社の生産性向上のためには、社員の日々の様子を気に掛け、変化に気付くことが大切であること、そのためには、日頃から社員とコミュニケーションを取ることが大切だと思いました。」（プレゼンティーズム改善）</p> <p>「部下のエンゲージメント向上の為に必要な自分の役割やふるまいをあらためて再確認・整理できた。」（ワーク・エンゲージメント向上）</p>				

管理職向け 社員研修プログラム

株式会社アドバンテッジリスクマネジメント

<https://www.armg.jp/business/training/>

理論的裏付け

採用している理論の概要

当社が提供する管理職向け社員研修プログラムは、管理職がメンタルヘルス不調の予防・早期発見・対応を適切に行えるよう支援することを目的とし、複数の理論的枠組みに基づいて設計されています。主な理論としては、NIOSH職業性ストレスモデルを採用しており、仕事の要求度、裁量、支援といった職場要因が健康に与える影響を理解したうえで、上司として職場環境に働きかける力を養います。また、認知行動理論（CBT）に基づき、部下のストレス反応や思考の偏りに気づき、適切な対話を通じて支援する視点を取り入れています。加えて、厚生労働省が示す「心の健康の保持増進のための指針」に沿い、ラインによる気づき・傾聴・つなぎ・職場環境改善といった4つの実践行動を具体的に習得するプログラムとなっており、職場内での相談促進やエンゲージメント向上、プレゼンティーズムの改善といった実効性の高い成果につなげることを目指しています。

実証評価

学術介入の有無

学術研究機関等による科学的な効果検証

学術研究期間等が介在しない独自の効果検証

エビデンスの水準

ランダム化比較試験

非ランダム化比較試験

単純前後比較などの準
実験的研究

コホート研究

横断研究または症例対
照研究

実証評価の結果概要

研修プログラムとしての実証評価は実施中